



# 日刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043(222)7207 番  
FAX 043(224)7197 番

2000.12.1 No. 5233

## ▼ 拉致・監禁! 告訴! の応酬 J R 総連の末期症状! 革マル同士で内部抗争

J R 総連・革マルどうしの醜い内部抗争がはじまった。国鉄分割・民営化以来、J R 総連を支配してきた革マルは、ついにその中枢から決定的な分裂・仲間割れを開始し、自己崩壊しようとしている。

### 拉致―告訴という異常な内部抗争!

11月3日、J R 総連 O B の坂入充(元三鷹駅所属)という人物が革マルによって拉致された(未だ行方不明)。J R 総連は11月16日に「革マル派による拉致監禁を許さない」という緊急集会を開き警察に告発。同27日には告訴するという、異様な事態が発生したのだ。

拉致された坂入充は、国鉄時代から革マル派のトップクラスの幹部だと言われてきた人物だ。  
J R 総連の革マルどうしで、昨日までは仲間だったはずの者を拉致・監禁したり、「小西某、神保某、浅野某」などと組合 O B の実名をあげ、革マル派だと言って警察に告訴したりという、まさにおぞましいといしか言いようのない内部抗争が繰り広げ

られているのだ。  
この間われわれが指摘してきたように、J R 総連九州労の崩壊は、J R 総連・革マルの総崩壊への事の始まりに過ぎない。

### 奴隷となった者の行き着いた果て

J R 総連という「労働組合」は、もともと政府・自民党や国鉄―J R 当局の手によって作られた組合だが、J R 東日本はこの十数年間、革マルを自らの労務政策や合理化攻撃の手先として育成しつづけた。革マルは革マルで、職場から闘う労働運動を一掃する尖兵となつて、番犬としての役割を果たしてきた。

だがこのような腐敗した関係は、ついに仲間どうしで拉致したり報復し合う行為にまで行き着いたのだ。ある意味では当然の帰結である。彼らは十数年にわたつて会社に飼われ労働者を犠牲にすることでやりたい放題のことをやり、甘い汁を吸いつづけてきた連中だ。拉致・監禁事件や告訴の泥仕合は、その腐敗の行き着いた結果だと言うしかない。

### 労働組合とは無縁

言うまでもなく、このような行為は労働組合運動とは全く無縁なものだ。拉致・監禁した側も、警察に告訴した側も同根の革マルであり、彼らの本質は、やる事、なす事を見れば明らかなおろしきファシストだ。これから果たすであろう役割の犯罪性はどちらも全く同じである。

こんな連中が会社と結託して J R の労働者を支配し、その権利や未来を売り渡しつづけるようなことをもうこれ以上許すわけにはいかない。今こそ怒りの声を叩きつけよう。職場に闘う労働組合、労働者のための労働組合をつくりあげよう。

### 一体何が起きているのか!

「J R 総連通信」などによれば事件の概要は次のとおりだ。

- (1) 11月3日、J R 総連 O B で、月刊誌「自然と人間」事務局の坂入充が革マルによって拉致された。
- (2) なお、旧動力のさつき会館に住

所を置く「自然と人間」事務局は J R 総連の革マル裏指導組織になつており、「J R 中央労研」という名称であることを革マル派は機関紙で認めている。坂入はその事務局長であり、この6月までは、革マル派の機関紙に、「南雲」というペンネームで論文を書いているまさに筋金入りの革マルなのだ。(南雲 II 坂入であることは J R 総連自身も認めている)

- (3) 坂入が拉致された当日、浅野という男から家族に「彼と討論させて貰う」との一方的な電話が入る
- (4) 拉致犯とおぼしき浅野も坂入と同様 J R 総連の O B で、国鉄時代から革マルのトップクラスの幹部だと言われてきた人物である。しかも浅野は、J R 九州労の大量脱は九州労北委員長自ら仕組んだものだと言つて、10月に九州労事務局に乱入し、暴力行為をはたらいた三名の一人(他の二名は小西、神保)でもあつた。
- (5) 11月11日、九州労の小西書記(11月10日に九州労から解雇通告されている)が九州労事務局に抗議に来て、「坂入本人が『大量脱退は、坂入、田岡、船戸、北が決められたことだ』と言っている」などと述べ、拉致事件に関与していることをほのめかす。(この小西という書記も革マルで、九州労事務局に乱入した小西の妻だという。J R 総連は「密通者」と呼んでいる)
- (6) 11月16日、J R 総連は坂入拉致事件を革マル派によるものとして、浅野、神保、小西ら組合 O B の名

新しい世代の労働千葉を創りあげよう! 新時代の労働千葉を創りあげよう!

前をあげて埼玉県警に告発する。

(7) 同日、革マルは「JR総連委員長・小田の埼玉県警への告発を満身の怒りをもって弾外する」との声明をだすとともに、機関紙で、JR総連委員長小田、書記長山下坂入、九州労委員長北らを口汚く非難する。

(8) なお革マル派は、次の二つの理由をあげて坂入らを非難している。第一に、坂入は「『会長(松崎)は過去の人だ』『山本勝彦(革マルの独裁者：黒田のこと)は変質した』などとほざいて、反感を植えつけるということをやっている」ということであり、第二には、九州労の集団脱退は、坂入らが仕組んだものだということだ。

(9) さらにJR総連は、坂入拉致事件に関して脅迫状郵送されたとして、11月27日、革マルを告訴した。

### JR総連崩壊の日は近い!

以上、現時点で明らかになっている事態だけを見ても、これがいかにおぞましい内部抗争なのかは明らかだ。JR総連委員長の小田らは、あたかも坂入や自分たちは革マルではないかのように言って革マルを非難しているが、彼らも知らない者はいないバリバリの革マルだ。JR総連内で、革マルが革マルを拉致し、それをめぐって革マルが革マルを警察に告発しているのだ。

しかも彼らが非難合戦によれば、JR総連の実質的な支配者である松

崎は、坂入を拉致した側だということになる。だが当の松崎はこの数ヶ月、どこにも姿を表さず、何ひとつ口を開いていない。

明らかかなことは、起きている事態は、九州労だけの問題だとか、坂入個人の問題などでは断じてないこということだ。JR総連全体、革マルの組織全体で、血なまぐさい内部抗争、粛正劇が吹き荒れているのだ。そしてこの抗争・内紛は、現場で働く労働者とは全く無縁なところで、どちらがより一層資本の奴隷となるのかを争っているに過ぎないということである。

### 今こそJR総連と決別しよう!

もはやJR総連は、革マルによる支配とその崩壊状況のなかで、労働組合の体をなしていない。これ以上こんな労働組合ならざる労働組合に所属していいのか。

革マルがどのような連中であるか百も承知したうえで革マルと手を組みつづけたJR東日本をはじめとするJR会社経営陣の責任も徹底的に追及されなければならない。彼らも革マルと同罪である。

革マル内の醜い抗争のなかで犠牲になるのは現場の労働者だ。JR総連という組織、革マルという組織が労働者にとって害毒しかもたらさないことは誰の目にも明らかだ。今こそJR総連を解体・打倒しよう。今こそJR総連と決別しよう。JRに闘う労働組合を甦らせよう。JRの労働者の団結をとり戻そう!

### ●お詫びと訂正

「日刊動労千葉」5226号掲載の動労千葉本部乗務員分科会2000年度役員体制の氏名がまちがってました。下記のとおり、お詫びし訂正いたします。

本部乗務員分科2000年度役員体制

役職	氏名	年	出身
会長	橋本 英治	49	千葉転
副会長	鈴木 喜充	41	千葉機
事務長	吉田 英樹	42	千葉転
役員	加藤 博	49	館山
	加田 嘉郎	46	千葉転
	斉藤 富雄	45	銚子
	荘司 仁	41	津田沼
会計監査	田中 浩克	38	銚子
	鈴木 文晴	38	館山
	岩井 篤	40	新小岩

### ●当面するスケジュール

#### 動労総連合第15回定期大会

▼12月3日(日)14時～4日(月)12時

▼DC会館会議室

◎代議員・傍聴者の参加を。

#### 営業分科会第4回定期委員会

▼12月5日(火)13時～

▼DC会館会議室

◎営業関係の組合員はぜひ結集を。

#### 勝浦運転区廃止事件 中労委審問

▼12月8日(金)10時30分～

▼中労委(指定列車千葉駅◎番線発8:52)

◎この日は、一日かけて組合側証人(中野委員長・田中書記長)、会社側証人の審問が行われます。全力で集まろう。